

シラバス(研修共通カリキュラム)

科目	細目	時間数				講義内容・演習の実施方法の概要等
		スクーリング	レポート	通学	演習	
1 職務の理解		(指導目標) 利用者の生活を支えるケアについて、介護職がどのような環境で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。				
	(1) 多様なサービスの理解	3	0	6	/	介護とは何か、介護の仕事と就労場所について
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	0	42	/	現場職員の体験談等
	(3) 専門職とキャリアパス	/	/	3	/	介護の資格、資格向上の責務等 介護者としてのあり方について
2 介護における尊厳の保持・自立支援		(指導目標) 介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するに当たっての基本的視点及びやってはいけない行動を理解する。				
	(1) 人権と尊厳を支える介護	1.5	3.5	6	/	基本的人権、尊厳に関する制度について説明。事例を基に討議
	(2) 自立に向けた介護	0	4	6	/	自立について説明。介護における自立支援、介護予防について、福祉サービス、基本姿勢を通して理解を深める。
3 介護の基本		(指導目標) ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性を知り、職務におけるリスクとその対応を理解し介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる				
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	0	2	6	/	介護の環境、介護の専門性 他職種の専門性、連携
	(2) 介護職の職業倫理	2	0	3	/	基本理念 介護職の職業倫理、接遇
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	0	1	6	/	起こり得る事故、予測と予防 感染症
	(4) 介護職の安全	1	0	6	/	介護職に起こりうる健康障害 感染症予防 ボデイメカニクス

科目	細目	時間数				講義内容・演習の実施方法の概要等
		スクーリング	レポート	通学	演習	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		(指導目標) 介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、概要を知る				
	(1) 介護保険制度	1.5	1.5	6	/	介護保険制度の目的・動向 仕組みや流れ 介護サービスの種類と内容
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	0	3	6	/	福祉サービスと医療保険サービス 役割と連携 医行為の説明
	(3) 障害者自立支援制度およびその他の制度	0	3	6	/	障害の分類 障害者福祉の理念 自立支援制度の仕組み 医療保険等制度
5 介護におけるコミュニケーション技術		(指導目標) 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初心者としての行動を理解する				
	(1) 介護におけるコミュニケーション	3	0	6	/	コミュニケーションの手段と技法 効果的なコミュニケーション
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	0	3	6	/	介護における記録 意義・目的、種類等 カンファレンスの種類、必要性、役割
6 老化の理解		(指導目標) 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する				
	(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	3	0	6	/	加齢と変化 機能の変化に伴う生活
	(2) 高齢者と健康	0	3	6	/	高齢者に多い疾病・症状
7 認知症の理解		(指導目標) 認知症について理解し、認知症の利用者を介護するときの原則を理解する				
	(1) 認知症を取り巻く環境	0	1	3	/	認知症ケアの理念

科目		時 間 数				演習の実施方法の概要等
		スクー リング	レポ ート	通学	演習	
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と日常生活	0	2	6	/	認知症の原因疾患と症状 健康管理
	(3) 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	2	0	6		認知症の人の心理、行動 コミュニケーション、対応
	(4) 家族への支援	1	0	3		家族の心理、支援
8 障害の理解		(指導目標) 障害の概念と I C F、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する				
	(1) 障害の基礎的理解	1	0	6	/	障害の概念 I C F
	(2) 障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識	0	1	6		障害の内容、特徴 支援方法
	(3) 家族の心理、かわり支援の理解	0.5	0.5	3		家族の心理、支援
9 こととからだのしくみと生活支援技術		(指導目標) ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する				
I 基本知識の学習						
	(1) 介護の基本的な考え方	0	4	3	/	介護技術の学ぶ意義 介護予防
	(2) 介護に関することとからだのしくみの基礎的理解	0	4	3		記憶と感情、生きがい 障害受容のプロセス
	(3) 介護に関することとからだのしくみの基礎的理解	0	4	6		健康チェック、バイクルサイン 骨格、内部機関

科目	時 間 数				
	スクー リング	レポ ート	通学	演習	演習
Ⅱ 生活支援技術の講義・演習					(50～55時間程度)
(4)生活と家事	6	0	/	12	衣食住のあり方 家事援助・生活支援
(5)快適な居住環境整備と介護	3	0	/	6	快適な居住環境 住宅改修 福祉用具
(6)整容に関連したところからの しくみと自立に向けた介護	6	0	/	12	整容行動の意義 一部介助・全介助の支援方法 (講師1名、補助講師1名)
(7)移動・移乗に関連したところか らだのしくみと自立に向けた介護	12	0	/	18	ボデイメカニクスを活用した支援方法 移動・移乗に関する講義 支援方法 (講師1名、補助講師1名)
(8)食事に関連したところからの しくみと自立に向けた介護	6	0	/	6	食事に関する講義 支援方法 (講師1名、補助講師1名) 口腔ケア (3時間)
(9)入浴、清潔保持に関連したところ からのしくみと自立に向けた 介護	6	0	/	6	清潔に関する講義 支援方法 (講師1名、補助講師1名)
(10)排泄に関連したところからの の しくみと自立に向けた介護	6	0	/	12	排泄に関する講義 支援方法 (講師1名、補助講師1名)
(11)睡眠に関したところからの の しくみと自立に向けた介護	4.5	0	/	6	睡眠に関する講義 環境整備
(12)死にゆく人に関したところから だのしくみと終末期介護	1.5	0	/	3	終末期ケア、介護職のあり方
Ⅲ 生活支援技術演習					
(13)総合生活支援技術演習	12	0	/	36	心身の状況に合わせた支援

科目	細目	時間数				講義内容・演習の実施方法の概要等
		スクーリング	レポート	通学	演習	
4	振り返り	(指導目標) 研修全体を通して学んだことについて再認識を促すとともに、終業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。				
	(1) 振り返り	4	0		6	介護保険制度の目的・動向 仕組みや流れ 介護サービスの種類と内容
訓練時間総数		89.5	40.5	159	135	

使用する資機材

<p>使用する機器・備品等</p> <p>ホワイトボード、マイク、プロジェクター、机、椅子、ベッド、枕、マットレス、シーツ、防水シーツ、タオル</p> <p>ケット、車いす、パソコン、バスタオル、タオル</p> <p>1点杖、4点杖、高齢者疑似体験グッズ、白杖、歩行器、スロープ、体圧分散クッション、パジャマ、寝巻き、トイレ、血圧計、差し込み便器、</p> <p>ポータブルトイレ、尿器・便器、各種おむつ、バケツ、ビニールシート、シャンプー、</p> <p>リンス、ドライシャンプー、石けん、</p>
--